

▼不法投棄も川や海の水質悪化に影響を与えていることを知っていましたか？

不法投棄によって土壌が汚染されると、それに伴い地下水も汚染され、やがては川や海にも有害物質が流れ出てしまいます。

市では、不法投棄の防止のためにパトロールを定期的に行ったり、監視カメラの設置を行ったりしています。

しかし、ごみが新たなごみを呼び、監視カメラを設置したことにより新たな場所に投棄されるケースが後を絶ちません。皆様のご協力が不可欠です。



▼不法投棄を防ぐために…

- ①こまめな草刈りや柵・鍵を設置するなど、自分が所有する土地の環境の整備をお願いします。
- ②近隣や地域ぐるみでのパトロールなど、みんなで監視することが大切です。



※不法投棄は法律によって禁止されており、違反した場合は5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金が科せられます。

皆さんの暮らしの中で、地球のため、未来のために 今できることから始めてみませんか。

普段どれくらい環境に配慮した生活ができているか、リストにチェックをつけてみましょう！

水

- フライパンや食器は、油や汚れを拭いてから洗う
- シャンプーや台所用洗剤は使いすぎず、適量を使っている
- シャワーや水道を流しっぱなしにしないよう心がけている

ごみ

- 買い物にはマイバッグを持参し、省包装のものを選ぶ
- 有田市のごみ出しルールを守っている（分別・水切り等）
- 詰め替え製品を使用し、ごみの節約を心がけている
- エコマークがついたものやリサイクル商品を購入している

温暖化

- 近いところへは徒歩か自転車で行き、自動車に乗る時はエコドライブを心がけている
- 冷蔵庫の扉を無駄に開けない、開けた時はすぐに閉めている
- エアコンは冷房 28℃、暖房 20℃以下に設定している
- 部屋を離れる時は、エアコンや電気のスイッチを切っている

▼チェックが0～4個
忙しい毎日ですが、自分にできるところから時間をつくってやってみましょう！

▼チェックが5～9個
もう一息！みんなでエコに取り組んだら、大切な地球をもっと元気にできますね。

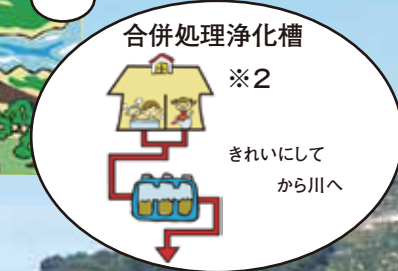
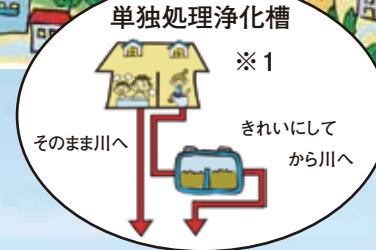
▼チェックが10～11個
すごい！このまま続けましょう！目的を持って取り組むととっても楽しいですよ！

問 生活環境課 Tel. 22-3565

6月は環境月間です 身のまわりの環境のこと、 一緒に考えてみませんか？



市では、家庭や地域で行う活動を中心に、ごみの減量化や合併処理浄化槽の普及、地区のボランティア清掃等を行っています。また、市役所においても独自の取組みとして、エコドライブ運転の実施や太陽光発電システムの導入、クールビズの実施等もを行っています。



▼有田川周辺の水環境

平成29年度末の和歌山県の污水処理人口普及率は63.6%（全国46位）。中でも有田市は27.9%とさらに低い結果となっています。

これは、家庭などから出る生活排水を、合併処理浄化槽や漁業集落排水できれいにしてから放流している人が少なく、有田川周辺の水質に悪影響を及ぼしていることを表しています。

▼川や海の汚れの原因って…？

川や海を汚す主な原因は、家庭から出る生活雑排水です。わたしたちは日常生活の中で、1人1日当たり約250リットルの生活排水を出しています。そのうちトイレからの排水が約30%、台所・風呂・洗濯などの生活雑排水が約70%を占めています。生活雑排水の中でも一番汚れの量が多いのは台所からの排水です。「食べ残しや油を台所から流さない」などの少しの工夫で汚れの量を減らすことができます。

▼きれいな水を川や海に流すために

くみとり便槽や単独処理浄化槽（※1）が設置されている家庭では、トイレ以外の生活雑排水は汚れが残ったまま川などへ流れてしまいます。一方、合併処理浄化槽（※2）は、生活排水すべての汚れを浄化し、きれいな水を川や海へ流すことができます。合併処理浄化槽の設置については、補助制度もありますのでご活用ください。（※1、※2上の図参照）